

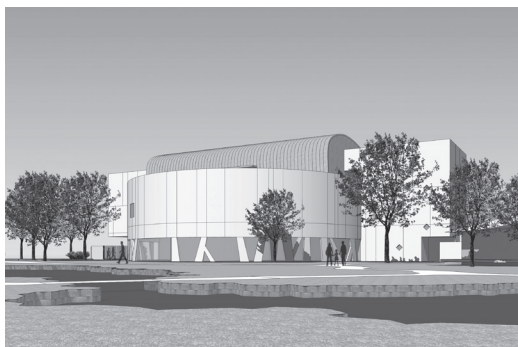
新刀剣博物館建設に向けて

『刀剣美術』誌では、理事会議事録概要や協会日記抄などで新刀剣博物館の建設に向けた役職員の諸活動の一端を報告してまいりました。この度、墨田区による旧安田庭園内「両国公会堂」跡地の活用事業候補者選定委員会の審査を経て、十月一日付で当協会は同跡地の活用事業候補者となりました。

今後は提案した事業計画に基づき、墨田区との協議のうえ基本協定を締結し、活用事業者として正式決定の運びとなります。

新刀剣博物館は、「江戸武家屋敷の庭園を引き継いだ旧安田庭園の立地を最大限に生かした博物館」「刀剣博物館の独自性を活かす、日本文化の情報を発信し交流する博物館」「地域の展示館や名所旧跡と連携し、土地の歴史を継承する博物館」の三つの基本理念のもとに事業計画を進める予定です。関係機関との協議等いろいろな折衝や作業はこれからですが、理事、監事並びに評議員を始めたとする会長以下役職員一同一丸となって大事業に取り組んでまいります。

皆様のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます、経過報告いたします。



新刀剣博物館イメージ図